

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・通年・A群
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・土木工学科
英語 A (English A)	担当教員	鞍掛哲治 (Kurakake, Tetsuharu)
	教員室	図書館2階 (tel 42-9058)
	E-Mail	kurakake@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 学修単位[講義I] / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業(100分)+自学自習(80分)〕× 30回	
〔本科目の目標〕 従来の工業英語の授業は、理工系の香りのするエッセイ風のリーディングや専門用語の習得のものが多く、残念ながら学習者が実社会に出た際にそれ程役に立つものではなかった。しかし、本授業では、インターネット上に無数にあるauthenticな教材を使い、様々な場面に必要な英語の特徴をジョブ・シミュレーションを通して把握・練習させ、実社会でも通じる英語を目指している。		
〔本科目の位置付け〕 4年次までに習得した英語(語彙・文法・読解等)を踏まえ、工業英語の基礎を養う。		
〔学習上の留意点〕 ・この講義では、自分で調べ、考え、そして自分の考えをまとめて発表することに多くの時間を割きます。 ・英文ライティングやプレゼンテーションの機会がありますが、このような機会をチャンスと捉え、積極的な参加を期待します。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時 限 数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. オリエンテーション Eメール	5	授業項目1~3について、構造・内容について理解することができる。
2. 新製品広告	4	
3. カタログ	4	
- 前学期中間試験 -	2	授業項目1~3 について達成度を確認する。
4. 仕様書	5	授業項目4~6について、構造・内容について理解することができる。
5. 操作マニュアル	5	
6. 求人広告	5	
- 前学期期末試験 -		授業項目4~6について達成度を確認する。
7. ビジネスレター	4	授業項目7~9について、構造・内容について理解することができる。
8. プレゼンテーション	4	
9. 解説書・ホームページ	5	
- 後学期中間試験 -	2	授業項目7~9について達成度を確認する。
10. 実験報告書	4	授業項目10~11について、構造・内容について理解することができる。
11. 実験報告書	5	
12. 工業英語検定	6	
- 後学期期末試験 -		各試験において間違った部分を理解できる。
試験答案の返却・解説		
〔教科書〕「ESPIにもとづく工業技術英語 大学・高専生のための新しい英語トレーニング」 野口ジュディ/深山晶子 監修 南雲堂 1,995円 その他必要に応じてプリント配布		
〔参考書・補助教材〕ジーニアス英和辞典(第4版)、ウィズダム英和辞典(第2版)		
〔成績評価の基準〕定期試験(50%)+提出物(25%)+プレゼンテーション(25%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕2-b, 4-b		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕2-3, 4-3		
〔JABEEとの関連〕(a), (f)		